

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	造園ガーデニング実習Ⅰ						授業形態	実習		
科目コード	710098	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	林 典生、平岡 直樹、岡島 直方、牧田 直子、平木 克二、中村 千恵								ICT活 用	○
授業概要	造園系分野に必要な基礎的な知識・技術を習得すると共に、その考え方・視点を習得してもらう。授業は2コマを1単元とし180分の実習となる。 【知識・理解の活用、課題解決】【汎用的技能、諸要因探求】【人間力、他者と協調】 造園の仕事で自営業を行っている講師の先生お二人に、具体的な施工や管理の方法などを指導していただく。									
関連する科目	履修後は造園ガーデニング実習Ⅱ、造園施工実習、ガーデニング特別実習の履修をしていただく様お願いいたします。									
授業の進め方 と方法	受講者をグループに分け、テーマごとに実施する。昨年度は3グループに分かれて実施した（第2回目は3グループに分かれて異なる実習内容をローテーションで受講、第3・4・7～10回目はグループ毎で受講、実習内容によりグループ内でさらに分かれてローテーションで受講、第6・11・12回は学外現場で視察・管理実習、第5・13～15回目は3グループ以上に分かれて学内の庭園や花壇の整備・管理を実施） 目標としている課題を達成するための視点や身体の動かし方を体験し、体験したことをレポートにまとめて言語化して伝えることができるようにする。 実習内容は天候等の都合で変更する場合がある。 課題の提出及びフィードバックはユニバーサルパスポートのクラスプロフィール上で行う。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 担当教職員の紹介、実習全体の流れの説明後、実習実施場所管理を行う。									
授業計画 【第2回】	男結び・道具の使い方 竹垣等に必要な男結び等のロープワーク、樹木剪定を通じて剪定はさみ・のこぎりの使い方の確認を行う。									
授業計画 【第3回】	移植工Ⅰ 移植に必要な樹木の掘り取り・根巻の練習を行う。 あるいは ガーデン基礎Ⅰ（丁張） 丁張の必要性やコンクリートブロックの特性を説明を受けた後、ブロック積工で使用する工具・道具の使い方の練習を行う。									
授業計画 【第4回】	移植工Ⅱ 実際に移植を行い、支柱設置まで行う。 あるいは ガーデン基礎Ⅱ 整地・配筋も含むブロック積工の準備・施工を行う。									
授業計画 【第5回】	植栽管理Ⅰ 学内に植栽されている宿根草等の管理作業を行う。									
授業計画 【第6回】	植栽管理Ⅱ 学内に植栽されている宿根草等の管理作業を行う。 あるいは 外部庭園管理 外部の現場にて、現場での管理方法説明・視察ならびに宿根草等の剪定・管理を行う。									
授業計画 【第7回】	レンガ敷工Ⅰ レンガ敷工に使用するレンガや工具・道具の説明を受けたのちに、目地なしでレンガ敷を行う。									
授業計画 【第8回】	レンガ敷工Ⅱ レンガ以外の石材も使用して、目地ありのレンガ敷を行う。									
授業計画 【第9回】	機械・管理Ⅰ 刈払機・芝刈機を使用して、草地管理を行う。 ならびに 木工Ⅰ 木工で使用する材料・道具の説明を行った上で、採寸・切断等を行う。									
授業計画 【第10回】	機械・管理Ⅱ 灯籠等の重量物の上げ下げ玉掛けも含めチェーンブロック・小型移動クレーン使用を習得する。 木工Ⅰ 採寸・切断した木材の組み立て・塗装等の仕上げを行う。									
授業計画 【第11回】	外部庭園管理 外部のバラ園にて、バラ園の管理方法説明・バラ等の剪定・管理を行う。									

授業計画 【第12回】	機械Ⅲ 2グループに分かれた後に以下の実習を行い、途中で交代する。 石材等の重量物を運ぶためのフォークリフト操作体験、 病害虫防除に関する説明後、動噴を用いて管理作業を行う。 あるいは 造園ガーデニング現場視察 ガーデニング実践現場に視察するとともに、現場での管理作業等の取り組みを担当職員より聴くことにより、今後の実習への取り組み意欲を高める。 場合により複数の現場を視察することもあります。
授業計画 【第13回】	グループ別実習Ⅰ 造園技能士体験 造園技能士3級未取得者を対象に造園技能士の実技試験に必要な技術を習得する。 モデルガーデン竹垣製作体験 造園技能士2・3級取得者を対象にモデルガーデン内の竹垣製作を行う。 ガーデン管理 学内にある花壇の管理作業を行う。 レンガ敷工特別実習 フィールド教育センター内の通路でレンガ敷工を行う。 ブロック積工特別実習 フィールド教育センター内の現場でブロック積工を行う。
授業計画 【第14回】	グループ別実習Ⅱ 造園技能士体験 造園技能士3級未取得者を対象に造園技能士の実技試験に必要な技術を習得する。 モデルガーデン竹垣製作体験 造園技能士2・3級取得者を対象にモデルガーデン内の竹垣製作を行う。 ガーデン管理 学内にある花壇の管理作業を行う。 レンガ敷工特別実習 フィールド教育センター内の通路でレンガ敷工を行う。 ブロック積工特別実習 フィールド教育センター内の現場でブロック積工を行う。
授業計画 【第15回】	グループ別実習Ⅲ 造園技能士体験 造園技能士3級未取得者を対象に造園技能士の実技試験に必要な技術を習得する。 モデルガーデン竹垣製作体験 造園技能士2・3級取得者を対象にモデルガーデン内の竹垣製作を行う。 ガーデン管理 学内にある花壇の管理作業を行う。 レンガ敷工特別実習 フィールド教育センター内の通路でレンガ敷工を行う。 ブロック積工特別実習 フィールド教育センター内の現場でブロック積工を行う。
授業の到達目標	造園系分野に必要な、知識・技術および考え方・視点を習得することで、様々な現場や分野で活用できる人材を育てることを目指す。 【専門分野のスキル】【コミュニケーション力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	オリエンテーション時に実習ノートの一部をユニバーサルパスポートにて配布する。 予定している実習内容・道具・材料について事前に調べる。(所要時間30分程度) 詳細はガイダンス時に説明する。
授業時間外学習【復習】	実習ノート（ファイル）を配布する。 実習内容を思い出しながら丁寧にレポートをまとめてください。(所要時間1時間：レポート作成の所要時間等の記入が無いようにいてください。) 詳細はガイダンス時に説明する。
課題に対する フィードバック	実習授業なので、その日の実習内容が主な課題となる。説明をよく聞いて、適切に実施できているかどうかは観察され、問題点があれば指摘される。
評価方法・基準	毎授業開始・終了時のレポートチェック、最後にチェックしたレポートをまとめて提出し、そのレポートの内容(記載漏れによる減点含む)で評価の上、複数回実施する持ち物チェック・授業態度による減点、発表などによる加点による評価を行う(100点)。 レポート未提出の学生は成績評価対象外になります。各回レポートの提出をため込むと、期末に提出レポートの枚数が増やされるか、減点の対象になります。
テキスト	造園ガーデニング実習ノートおよび授業中に配布する資料など
参考書	多数あるので、授業中に紹介する。
備考	実習系の科目を体系的に取得してもらいたいので、初回に実習系科目相互のつながりについて説明を行う。 造園業に携わっている教員が授業を担当する。 持参物・服装等は第1回目のオリエンテーションにて説明を行うので、必ず出席すること。 持参物は剪定はさみ・剪定のこぎり・コンベックス・帽子・タオル・手袋ならびに飲み物を持参してください。 服装は作業着着用の上、足元は地下足袋・長靴・安全靴を必ず履いてください。 体調を整えて、作成済みのレポートを実習前の期限までに提出の上、実習に参加すること。 実習内容はその年の状況に合わせて内容や取り上げる順序が変わる場合があります。